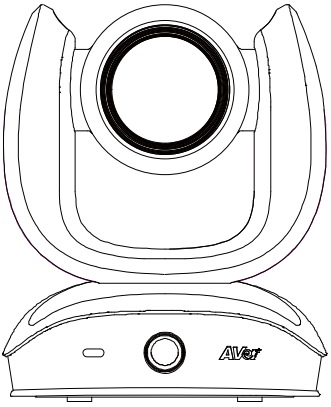
www.aver.com



CAM570

ユーザーマニュアル

警告：
本製品はクラスA製品です。家庭環境では、この製品は電波干渉を引き起こす可能性があります。
その場合、ユーザーは適切な対策を講じる必要があります。
本製品はカナダの ICES-003 に準拠しています。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

免責事項
このドキュメントの内容、その品質、パフォーマンス、商品性、または特定の目的への適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行われません。 このドキュメントに記載されている情報は、信頼性について注意深くチェックされています。 ただし、不正確な点については責任を負いません。 このドキュメントに含まれる情報は、予告なしに変更される場合があります。 AVer Information Inc. は、この製品またはドキュメントの使用または使用不能に起 因する直接的、間接的、特別、偶発的、または結果的な損害について、そのような損害の可能性について知らされていたとしても、いかなる場合も責任を負いません。

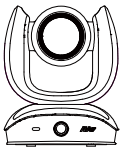
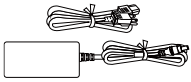
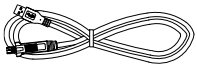
商標
「AVer」は、AVer Information Inc.が所有する商標です。説明目的で使用される他社の商標は、それぞれの会社にのみ帰属します。

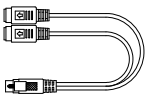
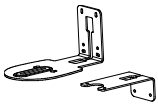
著作権

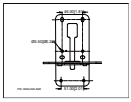
©2022AVer Information Inc. All rights reserved.| May 6, 2022All rights of this object belong to AVer Information Inc.
当社の事前の許可なしに、いかなる形式または手段によって本紙を複製または送信することは禁じられています。本紙の情報または仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。

仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。本紙の情報は参照のみを目的としています。本紙の内容は事前通知なしに変更される場合があります。表記内容に誤りがある場合はご連絡ください。

パッケージ同梱物

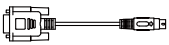
カメラ本体	赤外線操作リモコン	電源アダプタ 電源ケーブル*	USB 3.1 Gen1 ケーブル Type-B/Type-A（3m）
			

Mini DIN9/Mini DIN8 RS232 分岐アダプタ	HDMI ケーブル（3m）	壁取付用マウント	マウント用ネジ
			 M4 x8mm（x2）

底面固定ネジ	取り付け穴参考用紙	QR コードカード
 1/4 インチ”-20 L=7.5mm （x2）		

* 電源ケーブルの形状は販売される国や地域により異なります。
* 本製品同梱の電源ケーブルは、本製品同梱の電源アダプタでのみ使用してください。
  本製品同梱の電源ケーブルは、他の電気機器では使用できません。

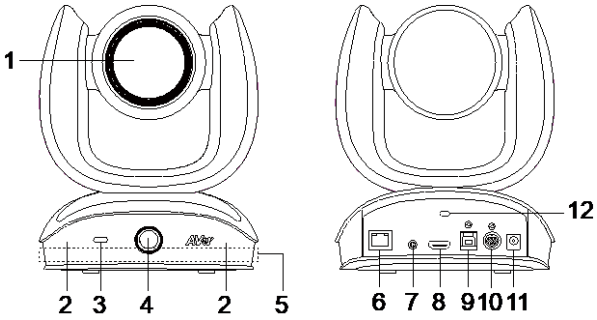
オプション販売品

RS232 変換アダプタ （MiniDIN8/D-Sub9 pin）	USB 3.1 延長ケーブル 10m/20m/30m
	

*オプション販売品は、販売される国や地域により異なる場合があります。
**天井に CAM570 設置をご検討の場合は、弊社純正マウントをご利用ください。

製品紹介

概要



1	光学ズーム搭載 PTZ レンズ	7	音声入力(ステレオミニ)
2	赤外線受光部	8	HDMI 出力端子***
3	状態表示 LED	9	USB 3.1 Type B 端子
4	人物検知用 2nd レンズ*	10	RS232 In/Out 端子
5	音声検出センサ****	11	DC 12V 電源差込口
6	PoE+端子**	12	ケンジントンロック取付口

音声追尾機能および設置に関する注意点

- **音声追尾機能の仕組み**

本製品の音声追尾機能は、2nd レンズの撮影範囲内にいる人物を検知して音声追尾を行います。

- **カメラの設置位置と調整**

音声追尾機能を使用する際は、設定用ソフトウェア(Room Management)、Web 管理画面、または HDMI 出力画像で 2nd レンズの映像を確認し、対象人物がカメラ映像内に収まるようカメラの設置場所を調整してください。

  - **推奨の高さ：** 床から 1.5 m 以上
  - **設置上の不具合：** 2nd レンズの視界が遮られるため、カメラをテーブルの上に直接置かないでください。

仕様および補足事項

- **PoE 給電について**

  本製品は PoE+(IEEE 802.3at / IEEE 802.3af)による給電に対応しています。カメラへ給電する際は、カテゴリ 5e 以上の FTP ケーブルをご使用ください。

- **HDMI 出力(PIP 表示)について**

  HDMI 出力は PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)表示に対応しています。詳細は<HDMI 接続>参照ください。

- **音声検出センサーについて**

  音声検出センサは音声の方向を検知するためセンサのため「Web 会議用のマイク」としては使用できません。

  別途、マイクスピーカーをご用意ください。

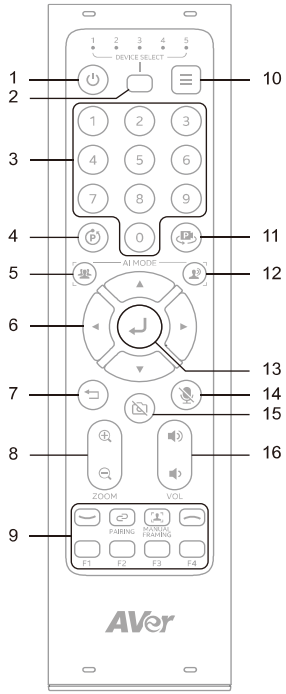
状態表示 LED

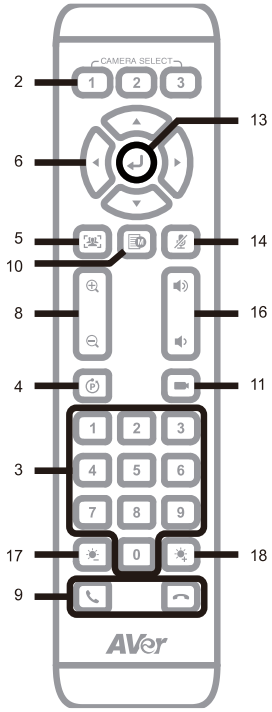
青点灯:電源オンまたはビデオ出力中
赤点灯: 起動中
オレンジ点灯: 電源ケーブルのみ接続状態
白点灯: USB 接続中(ビデオ出力なし)
オレンジ点滅: ファームウェア更新中

ジェスチャーコントロール
青色で2秒間点滅:ジェスチャーコマンドが認識され、指定操作の呼出完了
青色で4秒間点滅: ジェスチャーコマンドが認識され、指定操作の呼出中
[Note]: ジェスチャーコントロール機能はデフォルトではオフに設定されています。
使用には Room Management または Web 管理画面から有効化が必要です。
<ジェスチャーコントロール> 参照

操作リモコン

本製品には以下いずれかのリモコンが付属します。同梱リモコンは出荷時期により異なります。





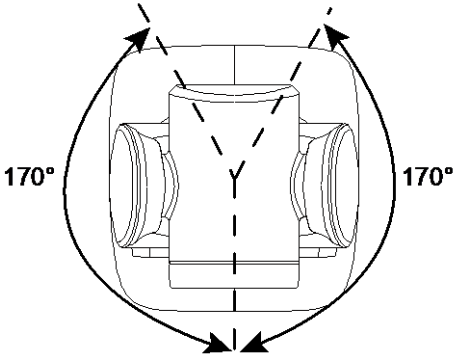
名称	機能説明
1. Power	-使用しません-
2. カメラ選択	デフォルト状態では、カメラ操作のための選択手順は不要です。 ・カメラに番号を割り当てるには、Web UI または Room Management から **[設定]>[カメラ割当]**を開き、登録するカメラ番号を設定します。
3. 数字ボタン(0～9)	**・プリセットの保存:** ボタンを長押し、数字キー(0～9)を押します。 **・プリセットの呼び出し:** ボタンを短く押し、数字キー(0～9)を押します。
4. プリセットボタン	

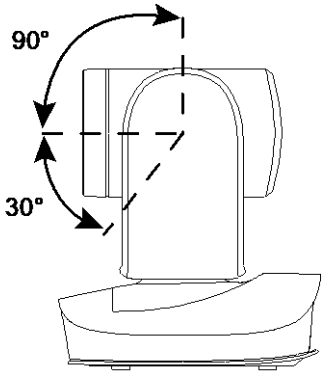
5. Smart Frame	2 秒長押しで、カメラの動作モードが順番に切り替わります。 各機能を呼び出し時、HDMI・USB 出力映像の下中央に 現在の動作モードが表示されます。 Manual Frame → Auto Frame → Preset Framing → Audio Tracking → Presentation Mode → AI Off 各機能動作時、アイコンが画面左上に表示されます。 機能動作より3秒後、アイコンは非表示になります。 **※アイコンを非表示にするには Room Management から「オンスクリーンメニュー表示」を「オフ」に設定してください。** **[注]** ■ スマートフレーム機能はデフォルトでは手動に設定されています。 ■ 本機能はカメラから約 7～10m までの人物を検出し、自動画角調整を行います。 ■ カメラは検出した人物に追従します。人の動きが止まると、選択した速度に応じて、フォーカスを合わせ、ズームインを開始します。デフォルト速度は「中」に設定されています。速度「高」は、一人の人物を追尾するのに適しています。 ■ プリセットフレーミング:カメラが音声を検出時、プリセット 1～9 に設定されたカメラ位置を自動的に呼出します。 手動での PTZ 操作やプリセット呼び出しを実施した場合、すべての自動機能が無効になります。
6. カメラ操作ボタン	カメラの首振り(上下左右)方向を操作します。
7. Back	-使用しません-
8. ズームインアウト	• カメラ映像を拡大・縮小します。
9. ファンクションキー	• F2:ボタン長押し:DHCP と固定 IP が切り替わります。
10. メニューボタン	・HDMI 出力時に押すと、メニュー画面を表示／非表示します。 ・長押しすると、HDMI 画面の PIP レイアウトを選択できます。
11. 連続プリセット	押すごとに、設定済みのプリセットを順番に呼び出します。
12. Audio Tracking	-使用しません-
13. 決定ボタン	• 字幕(キャプション)に現在の AI 機能を表示します。 • メニュー画面操作時、選択項目を確定します。
14. Mute	-使用しません-
15. Camera Off	-使用しません-
16. Volume	-使用しません-
17. 明るさ-	映像の明るさを下げます。
18. 明るさ+	映像の明るさを上げます。

ショートカット操作

ボタン操作内容	呼び出す機能
1 2 秒長押し	ワイドダイナミックレンジ)のオン／オフを切り替え
2 2 秒長押し	オーディオトラッキング(音声追尾)のオン／オフを切り替え
4 2 秒長押し	プレゼンテーションモードのオン／オフを切り替え
5 2 秒長押し	SmartFrame 機能のオン／オフを切り替え
6 2 秒長押し	USB/IP 出力映像のピクチャー・イン・ピクチャー(PiP) 小画面の表示位置を変更。
8 2 秒長押し	RTSP/RTMP が有効時、RTMP 配信のオン／オフ切り替え
9 2 秒長押し	スリープモードに移行。
6 秒長押し	カメラを再起動。

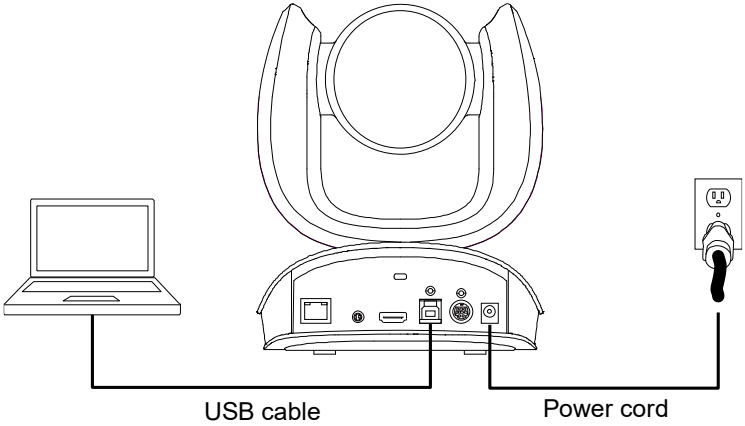
パン・チルト動作範囲





機器の設置

外部機器との接続



1. 付属 USB ケーブルを使用し、カメラ本体と PC を接続します。
2. 付属電源アダプタを使用し、カメラ本体に給電を開始すると LED が点灯し、カメラが起動を開始します
3. (推奨)使用する PC にソフトウェア Room Management をインストールします。 <Room Management>参照.
4. カメラを使用する Web 会議ソフトや配信ソフト上で、カメラ設定から「CAM570」を選択します。
5. 人物検出用の 2nd レンズ(画角 95°)に参加者が収まるよう、カメラを設置します。

設置上の注意:
カメラを机の上に直接設置すると、2nd レンズが人物を正常に検出できず、音声追尾の検知精度が大幅に低下します。
推奨設置高さ: 音声追尾機能をご使用の場合、床から約 1.5 m の高さを推奨します。
推奨距離: カメラと対象人物との推奨距離は最短約 1.5 m～最大約 7m になります。
補足: 2nd レンズは、広角撮影によって人物を検出するための専用レンズです。

[注] CAM570 の USB 端子は USB2.0 の下位互換があります。詳細は下図テーブルを確認して下さい。

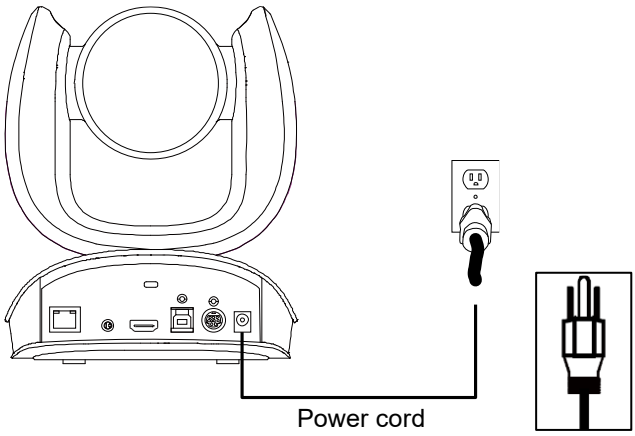
USB 2.0 接続時		USB 3.1 接続時		HDMI
YUV	M-JPEG	YUV	M-JPEG	
640x480 以下/最大 30fp 720p/最大 10fps	1080p/60fps	最大 1080p/30fps 720p/60fps	最大 4K/30fps※ 1080p/60fps	1080p/60fps 1080p/30fps

※USB 端子から4K 映像出力時、HDMI 出力は自動的に無効になります。

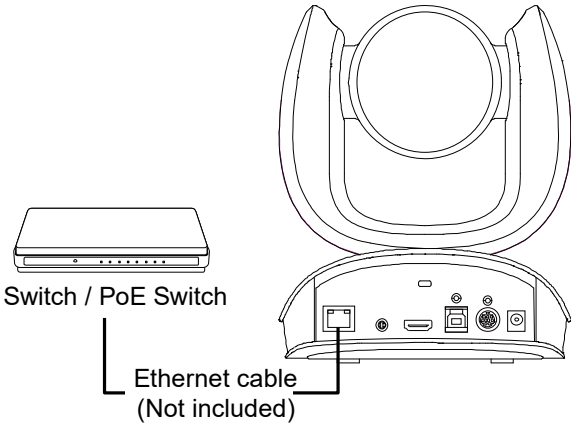
電源の接続

カメラへの給電は、付属電源アダプタを使用するか、本体 LAN 端子から PoE 給電を行います。

付属 電源アダプタを使用し、コンセントから給電する



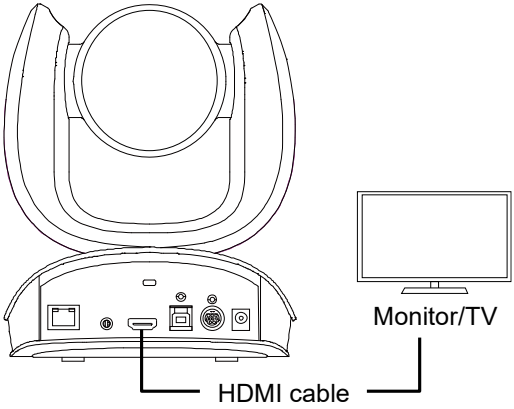
PoE 給電対応ハブを使用し、PoE 給電を行う



[注1] カメラと PoE ハブの接続には、CAT 5e の FTP ケーブルをご利用ください。

[注2] 給電に使用する PoE ハブは **IEEE 802.3at(PoE+)対応製品**をご利用ください。

HDMI 接続

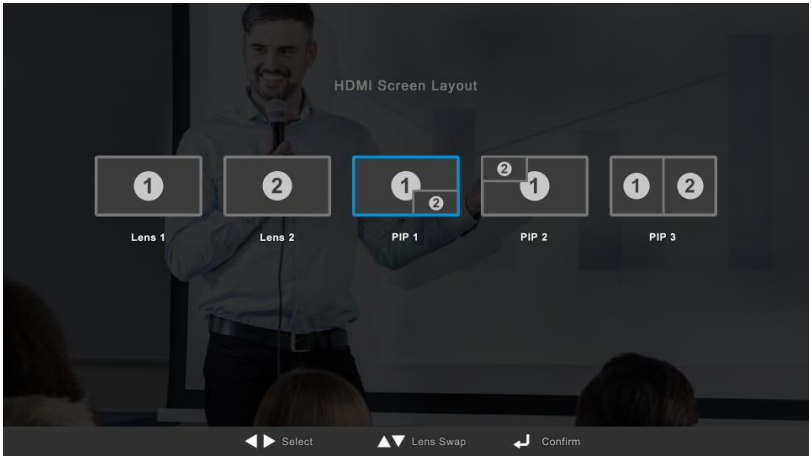


カメラ本体とテレビ・モニタ等に HDMI でカメラ映像を出力します。

操作リモコン( )ボタン長押しで PIP レイアウトを変更できます。(デフォルトはレイアウト1)

[注意]

USB または RTSP ストリーミングで 4K 解像度を選択した場合、HDMI 出力機能は自動的に無効になります。HDMI 出力を使用する場合、RTSP/USB 出力の解像度を 4K 以下に変更します。



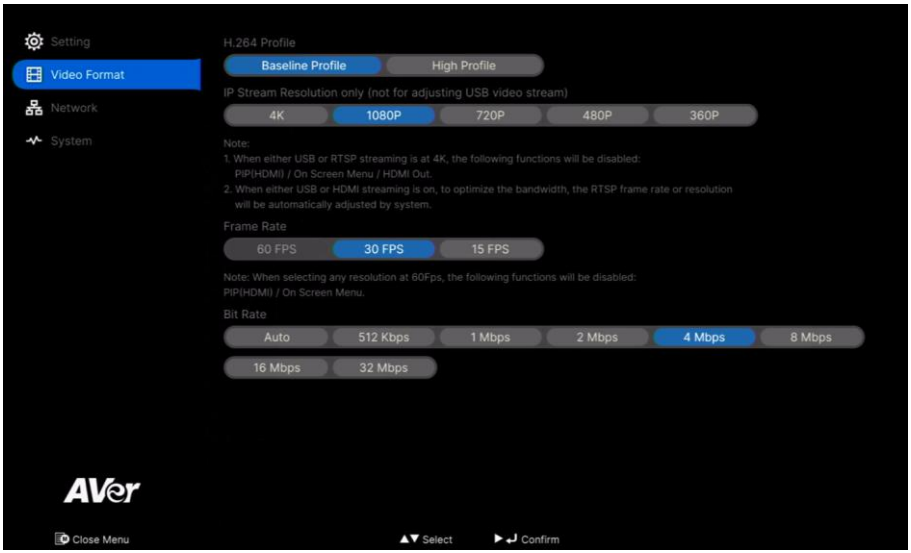
◆OSD メニューの表示と操作

リモコンの(M)ボタンを短く押すと、設定画面が表示されます。

右方向ボタンを押して、カメラのパラメータを入力し、設定することができます。

OSD ボタンを 2 回短く押すか、1 秒間長押しで OSD 表示メニューを閉じます。

HDMI 出力による OSD 設定機能は、Web 管理画面とほぼ同じ設定を行うことができます。



カメラの操作

Web 会議でカメラを使用する

1. 使用するすべての機器(CAM570・PC・TV モニタ等)が正しく配線され、電源オンの状態であることを確認します。
2. カメラを使用するソフトウェアを起動します。
3. 使用する Web 会議ソフトウェアのカメラ設定にて、「CAM570」を選択します。

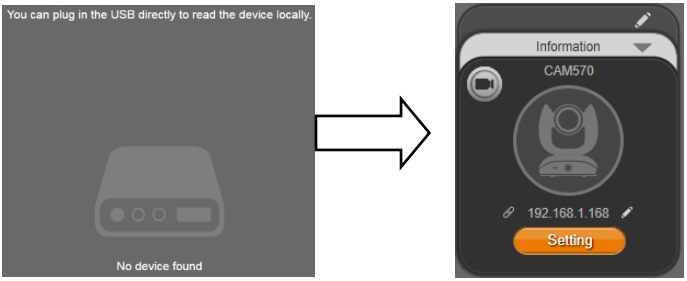
[注] CAM570 はプラグアンドプレイで動作し、特別なドライバーの追加インストールは必要ありませんが、カメラの詳細設定はソフトウェア Room Management または Web 管理画面から行うことができます。

(Room Management のインストールと使用方法については、<Room Management> P.56 を参照)

Web 管理画面にログインする

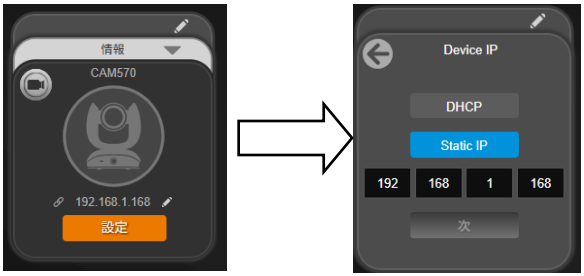
CAM570 カメラ背面の LAN 端子から IP ネットワーク経由でカメラの Web 管理画面にログインできます。

1. LAN ケーブルを接続し、CAM570 を使用する IP ネットワークへ接続します。
2. CAM570 と PC を USB ケーブルで接続後、ソフトウェア Room Management* ( )を起動します。
3. デフォルトの IP アドレスは DHCP に設定されています。



[注] Web 管理画面に対応するブラウザ
- Chrome: バージョン 76.x 以降
- Firefox:バージョン 69 以降
- Internet Explorer:**サポート対象外**

4. 鉛筆アイコン（ ）をクリックし、カメラが使用する IP アドレスを設定します。**.



5. 鎖アイコン( ) をクリックすると Web ブラウザが自動的に起動し、パスワード入力が要求されますので

デフォルトパスワード aver4321 を入力します。



6. パスワード入力後、新しいアカウントとパスワードを設定する画面が表示されます。

注: アカウント名は英語小文字、数字を使用してください。

注: パスワードは 8～10 文字で、英字大文字、英字小文字、数字、特殊文字(＊！％＋＝，-＿＾/＠．~ ＃ $)
それぞれ 1 文字以上含める必要があります。ユーザー名と同じパスワードは使用できません。

注)パスワードを忘れた場合は、Room Management から初期化を実行し、パスワードを初期値へ戻してください。



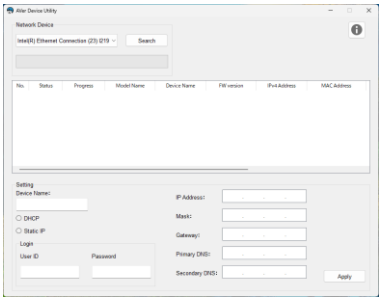
7. IP アドレスの設定が完了後、LAN からカメラの Web 管理画面へアクセスできるようになります。

8. Web 管理画面は下図のように表示されます。



＊＊ Room Management のインストール、使用方法については、<Room Management>(P.56)を参照.
**ネットワーク内にあるカメラの IP アドレスを確認するには、無償ソフトウェア AVer Device Utility から行うことができます。

1. ソフトウェアAVer Device Utilityをダウンロードします。
2. AVer Device Utilityを起動します。
3. **“Search”**をクリックすると、同一ネットワーク内のスキャンを開始します。
4. ネットワーク内に検出されたカメラがリスト表示されます。設定を行うカメラを選択します。
5. カメラのIPアドレスを変更するには、”DHCP ”または ”Static IP ”を選択することができます。
   “Apply”をクリックするとカメラの設定変更が適用されます。(デフォルトパスワード **aver4321**).
6. **“Search”**をクリックし、カメラの再スキャンを行います。
7. リスト表示されたカメラの行をダブルクリックすると、Webブラウザが起動しログイン画面が表示されます。
8. パスワード(デフォルトパスワード aver4321) を入力し、Web管理画面へログインします。



Web 管理画面

CAM570 は IP ネットワーク上の PC から、Web ブラウザベースでカメラの Web 管理画面にログインし、カメラ設定の変更や、ファームウェアの更新を行うことができます。

初回ログイン時の操作

カメラに使用する IP アドレスを設定し、ログインします。

1. パソコンでブラウザを開き、カメラの IP アドレスを入力します。
2. ログイン画面でパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは ”aver4321 ”です。
3. Web 管理画面が表示されます。

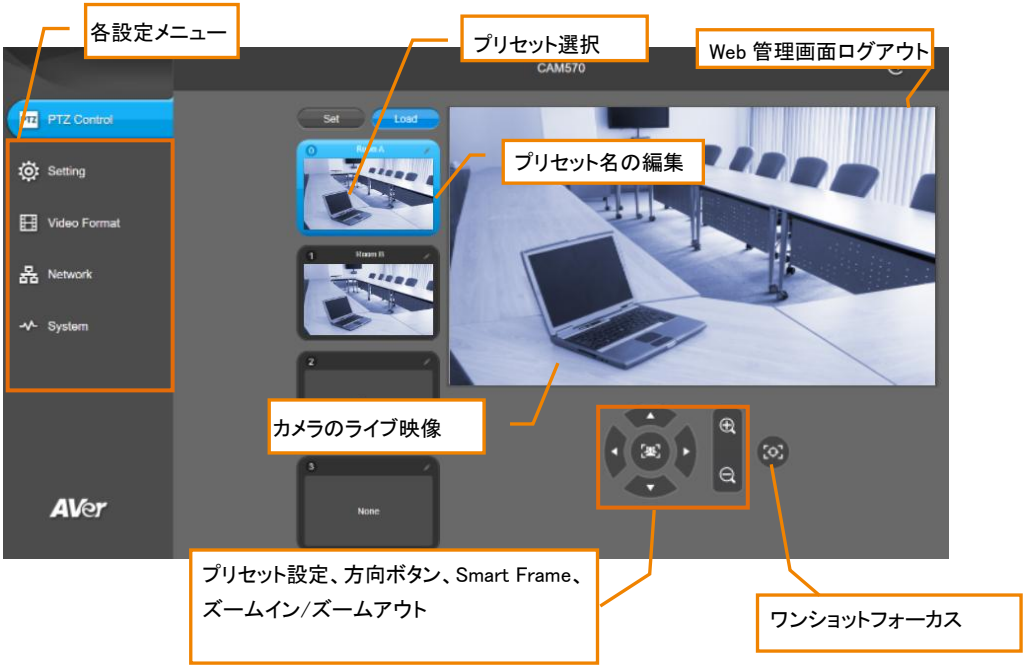


カメラのライブ映像表示

Web 管理画面では、カメラのライブ映像を確認しながらカメラ操作を行うことができます。

[注意]

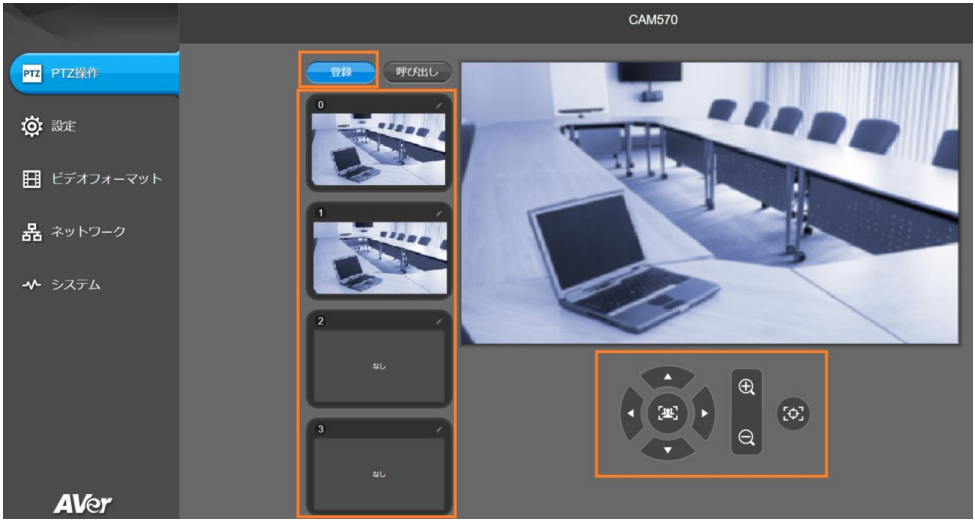
- 別のユーザーがログインした場合、ログイン中のユーザーは強制的にログアウトします。
  4 時間以上、操作リクエストなしでアイドル状態の場合、ユーザーは自動的にログアウトされます。
- プレビュー表示用のビデオ出力は 1280x720 / 5fps 固定になります。



カメラプリセットの登録と呼び出し

この設定項目では最大 10 個のカメラプリセットを保存、呼び出しすることができます。
［Tips］ カメラプリセットとは、カメラの特定の位置やズーム倍率を保存する機能です。保存したカメラ位置・ズーム倍率を呼び出すことができます。

1. 方向ボタン▲▼◀ ▶とズームイン・ズームアウトボタンを使用し、カメラ位置を調整します。
2. “**登録**”のタブ選択し、プリセット番号にプリセットが保存されるとプリセット保存時に画面がキャプチャされ、プリセット番号の枠内に登録時のカメラ映像がサムネイル表示されます。



3. 鉛筆アイコンをクリックすると、各プリセットの名前を編集できます。



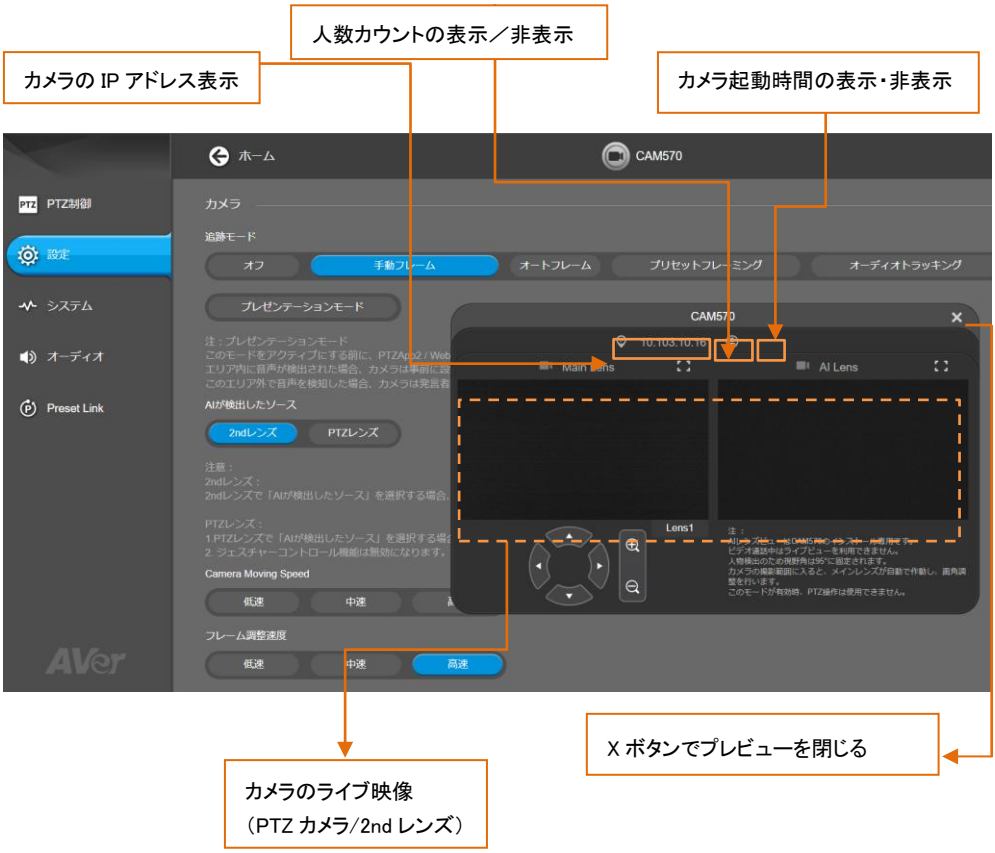
4. 別のプリセットを設定する場合、上記の手順を繰り返します。

5. カメラプリセットの設定後、カメラプリセットの呼び出しを行うことができます。
「呼び出し」のタブを選択し、プリセット番号をクリックすると保存したカメラプリセットを呼び出します。



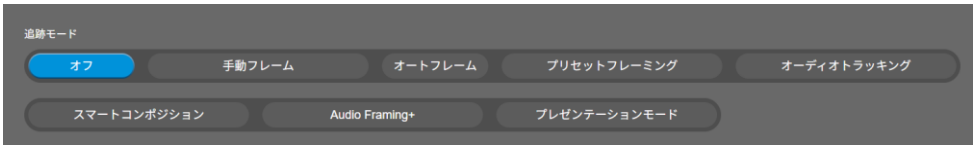
設定

ビデオアイコン をクリックすると、カメラのプレビュー画面が表示されます。



追跡モード

設定 > **カメラ** > **追跡モード** > **の項目で、カメラの動作モードの切り替えを行います。**



■オフ:

すべての追尾機能を無効にします。

リモコンによるカメラの手動操作を行う場合は、この項目を選択します。

■手動フレーム

リモコンの ボタンを押すと、自動フレーム調整を1回実行するモードです。

フレーム自動調整時、画面左上に アイコンが表示され、カメラ映像内の人物が画角内に収まるよう自動調整します。

※ 2nd レンズ選択時、2nd レンズ画角内の範囲にいる人物に対し自動調整を実行します。

※ PTZ レンズ選択時、 PTZ レンズ画角内の範囲にいる人物に対し自動調整を実行します。

※ アイコンは、設定「オンスクリーンメニュー」から非表示に設定できます。

■オートフレーム

カメラ映像内の人物が画角内に収まるようカメラが自動的に画角を調整します。リモコン操作の必要はありません。

フレーム自動調整時は、画面左上に アイコンが表示されます。(アイコンは非表示に設定可能です。

カメラ画角内の参加者が自動的にズームイン・ズームアウトし、人物が画角内に収まるよう調整します。

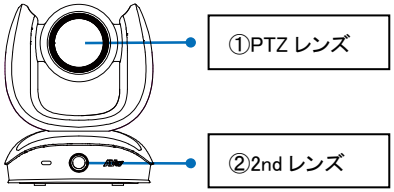
※2nd レンズ選択時、2nd レンズ画角内の範囲にいる人物に対し自動調整を実行します。

※PTZ レンズ選択時、 PTZ レンズ画角内の範囲にいる人物に対し自動調整を実行します。

※ アイコンは、設定「オンスクリーンメニュー」から非表示に設定できます。

※**自動フレーム調整**が可能な範囲は**「PTZ レンズの倍率 1 倍時の撮影範囲」**です。

自動フレーム調整を使用する場合、「PTZ レンズ倍率 1 倍時の撮影範囲を基準として、
カメラ設置位置を決めてください。



■プリセットフレーミング:

・登録済みのプリセット位置に人物を検出した場合、プリセットを自動的に呼び出すモードです。
・プリセット1～プリセット9を使用できます。
・カメラ画角内の1名へ追尾する場合に最適です。カメラ画角内に複数人が映る場合は使用に適しません。
・カメラ画角内に人がいない場合、ホームポジション(プリセット0)に戻ります。
・各プリセットは、下図のようにプリセットの端が重なるように設定してください



注1)使用するプリセットは「カメラ台座部の固定レンズ(AI レンズ)の撮影範囲内」で設定してください。
注2)プリセット自動呼び出しの優先順位は、プリセット番号の若い順になります。(最優先はプリセット1)
注3)AI 検出ソースは **2nd レンズ**を使用してください。

■オーディオトラッキング:

人物の発言方向を検出し、発言者へ自動的にカメラ位置を調整する音声追尾機能です。
オーディオトラッキングには2つの設定・動作モードがあります。

設定1(2nd レンズ)

⇒**カメラ台座部の固定レンズ(2nd レンズ)の撮影範囲内で認識された人物に対してのみ**音声追尾を行います。2nd レンズの撮影範囲外の発言者に対しては追尾を行いません。

設定2(PTZ レンズ)

⇒ カメラ全方向に対して、音声追尾を行います。 **このモードを使用する場合、カメラを壁から1m以上離れた場所へ設置してください。**

注)スピーカー等の音源がカメラ付近に設置されている場合、カメラが音源の方向を向く場合があります。
この場合、CAM570 のオーディオ設定(P.68)より音声追尾から除外する設定を実施します。

■スマートコンポジション

このモードでは、カメラは強制的に倍率 1 倍固定の状態となり、カメラ映像内に映る人物を自動的に分割表示します。
※本機能を使用するには、PIP モードをオフに、AI 検出ソースを"PTZ レンズ"へ設定する必要があります。
※ 最大9人までの人物を検出・分割表示が可能です。
※ 9人以上の人物が映る場合、カメラは強制的に倍率 1 倍の状態となります。
※ カメラの Flip(上下反転)有効時、本機能は無効となります。

■Audio Framing＋

本機能はカメラ撮影範囲に 2 名以上が映る場合に有効となります。

・最初の 1 名が発言を開始すると、発言者に対してフレーム調整を行います。

・別の人物(2 番目)が発言を開始すると、2 番目に発言した人物に対してフレーム調整を行います。

・1 番目と 2 番目の人物が会話を継続した場合、2 名を PIP 形式で表示します。

PIP 表示では、最初の発言者が大きく、2 番目の発言者右下に小さく表示されます。

・さらに会話を継続した場合、「2 名の人物を左右に当分割表示する状態」へ自動的に切り替わります。

■プレゼンテーションモード:

プリセット自動呼出＋音声追尾の組み合わせによる機能です。

発言者の方向に対応して、登録したプリセット(1～9)を自動的に呼び出すモードです。

プリセット設定時、下図のように各プリセットが重ならないように設定してください。



注)プレゼンテーションモード動作時、Smart ViewShiftは動作しません。

注)スピーカー等の音源がカメラ付近に設置されている場合、スピーカーの方向を向く場合があります。

この場合、CAM570 のオーディオ設定(P.68)より音声追尾から除外する設定が可能です。

AI 検出ソース

人物の AI 検出を行うレンズを設定します。



・2nd レンズ

⇒カメラ台座部の固定レンズのカメラ画角を基準にフレーム調整・追尾機能を実行します。

・メインレンズ

⇒カメラ搭載の PTZ レンズのカメラ画角を基準にフレーム調整・追尾機能を実行します。

この設定を使用する場合は、「カメラを壁から1m以上離れた場所」に設置してください。

音声検知センサ方向設定

検出ソースを「PTZ レンズ」に設定時、この設定項目が有効になります。
カメラ底面には音声追尾用の音声検出センサが、正面と右左の合計3つ搭載されています。
音声追尾時の検知に使用するセンサを下図の3パータンから選択できます。



カメラの移動速度

カメラの追尾機能動作時にカメラが移動する速度を 3 段階で調整できます。



フレーム調整速度

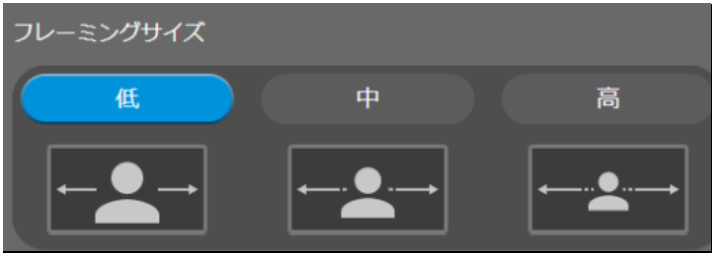
オートフレームまたはプリセットフレーム動作時、カメラが自動動作を行うタイミングを 3 段階で指定します。



■低速：人物が静止した状態で、5秒後に自動動作を実行
■中速：人物が静止した状態で、3秒後に自動動作を実行
■高速：人物が静止した状態で、1秒後に自動動作を実行

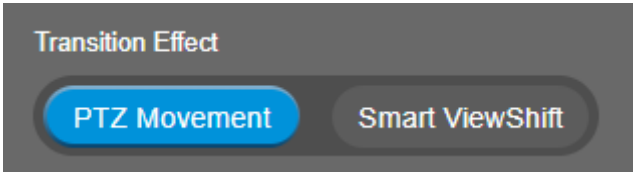
フレーミングサイズ

手動フレーム、オートフレーム、オーディオトラッキングの自動フレーム調整を実行時、
対象人物へのズーム倍率を 3 段階で指定します。
■低：対象人物にズームインします。
■中：低と高の中間の画角で撮影します。
■高：対象人物から引いた画角で撮影します。



トランジションエフェクト(Smart View Shift)

AI 検出ソースが「2nd レンズ」に設定されている場合、本項目が有効になります。
カメラの音声追尾によりカメラが動いている際に、エフェクト効果を入れるかを設定できます。
PTZ Movement 選択時>エフェクト効果なし
Smart ViewShift 選択時>カメラ移動時にエフェクト効果が入り、カメラ移動中の画面酔いを予防します。



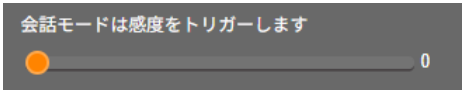
オーディオトラッキング待機時間

オーディオトラッキング有効時、無音状態からホームポジション(プリセット0)に戻るまでの時間を選択します。
オフに設定時は、ホームポジションには戻らず、最後に呼び出したカメラ位置を維持します。



会話モード　感度設定

・オーディオトラッキング有効時に、複数人が同時に発言する状態を検出した場合、
カメラ画角が自動的に 1 倍の状態となるモードです。



・このモード動作時、カメラ画面左上に　アイコンが表示されます。
・このモードが有効となる感度は1～4の 4 段階で設定できます。
・値を0に設定した場合、会話モードは無効の状態になります。

オートフォーカス設定

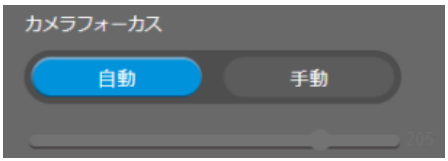
カメラのフォーカスの形式を選択します。



■ PTZ 操作時のみ: カメラのパン・チルト・ズーム操作を行った場合にオートフォーカスを実行します。
■連続フォーカス: 被写体の移動を検知した場合、オートフォーカスを実行します。

カメラフォーカス

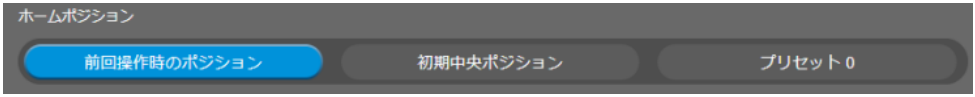
カメラフォーカスの自動/手動を選択します。
自動: カメラはオートフォーカスを行います。
手動: 下に表示されるオレンジ色のスライダーでフォーカスを手動調整します。





ホームポジション

カメラ電源がオフの状態から再度電源オン時に呼び出すカメラ位置を指定します。



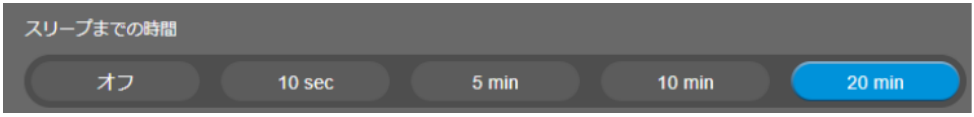
スリープ位置

カメラがスリープ状態となった場合のカメラ位置を選択します。工場出荷時は左下に設定されています。
任意の位置にスリープポジション設定する場合プリセット9にカメラ位置を登録し、プリセット9を選択します。



スリープまでの時間

カメラがスリープ状態に入るまでの時間を選択します。
USB から映像が出力されている状態、または RTSP/RTMP 有効時、カメラはスリープになりません。



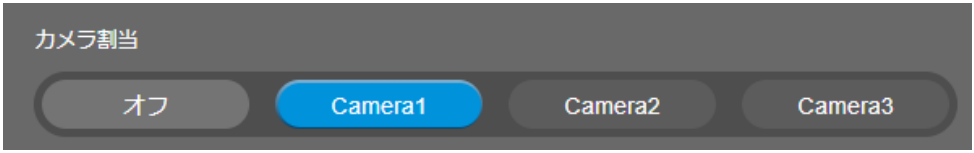
オンスクリーンメニュー

カメラ映像内に表示される、アイコンやオンスクリーンメニューの表示/非表示を選択します。
オフ:すべてのアイコンを非表示
オン:すべてのアイコンを表示
プリセット呼出オフ:プリセット呼び出し時のメッセージのみを非表示



カメラ割当（リモコン赤外線チャンネル変更）

カメラ操作を行う赤外線リモコンのチャンネルを設定します。デフォルトではチャンネル1に設定されています。※複数のカメラを1つの赤外線リモコンで操作する場合のみ、設定を変更してください。



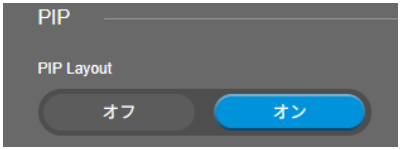
プリセット保存（プリセット保存の有効/無効）

カメラへのプリセット保存を有効または無効に設定します。
無効に設定した場合、赤外線リモコン・ホットキー・VISCA 制御・Web 管理画面からプリセットを登録/呼び出しできない状態となります。



PIP 設定

PIP レイアウト



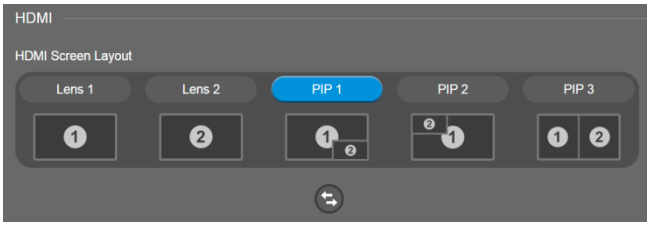
PIP レイアウトを有効にすると PTZ レンズと 2nd レンズ 両方の映像を、PIP 出力できます。デフォルトはオフです。
設定＞PIP＞PIP レイアウト＞オフまたはオンを選択します。
※PIP レイアウトのオン/オフ設定変更時、カメラは強制的に再起動します。

PIP レイアウト有効時、RTSP、RTMP、仮想ストリーム機能は自動的に無効になり、
ビデオ解像度は M-JPEG 1080p および YUV 720p 形式のみサポートします。
PIP レイアウト無効時、HDMI 画面レイアウトと USB/IP ストリーミング画面レイアウトから、
PTZ レンズまたは 2nd レンズのいずれか 1 カメラのみ出力を選択できます。PIP 1～PIP 3 は無効となります。

HDMI 出力レイアウト

HDMI 出力のレイアウトを設定します。

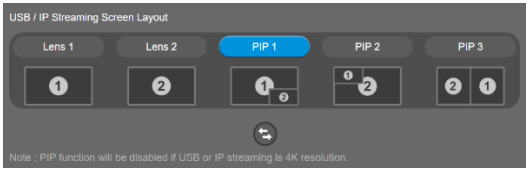
PIP 1、PIP 2、PIP 3 を選択した場合、をクリックするとレンズ 1、レンズ 2 の表示位置が切り替わります。



USB/IP 出力レイアウト

USB/IP 出力時のレイアウトを設定します。

PIP 1、PIP 2、PIP 3 を選択した場合をクリックするとレンズ 1、2 の表表示位置が切り替わります。



画像設定

フリップ（上下反転）

カメラから出力される映像の上下反転を有効・または無効にします。

カメラを上下反転した状態で天井に取り付ける場合は本項目をオンに設定してください。

（注意）

・手動でイメージフリップを有効にした場合、メインレンズが人物検出レンズとして選択されます。

・フリップが有効の状態で 2nd レンズを人物検出レンズとして選択した場合フリップは無効になります。

・フリップを手動でオフに設定した場合、Al レンズが AI 検出ソースとして選択されます。



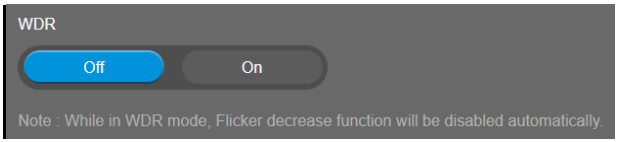
ミラー（左右反転）

カメラから出力される映像の左右反転を有効・または無効にします。



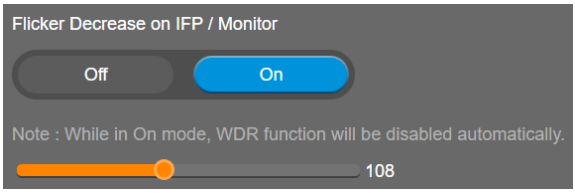
WDR

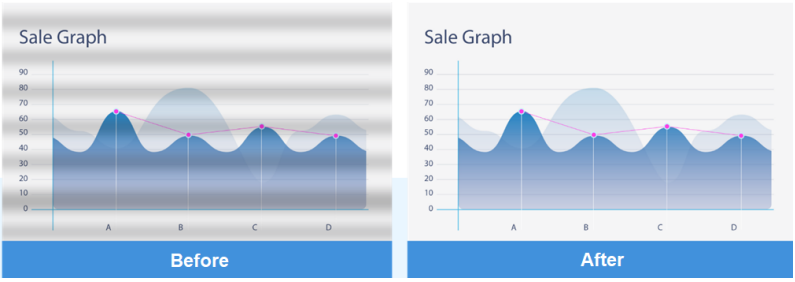
逆光環境下での明るい場所に対して、ビデオの鮮明さを改善します。
※WDR有効時、ビデオのフレームレートは最大30fpsに制限されます。
※通常の環境で、本モードを有効にしないでください。ビデオ内にブラーが発生する場合があります。
※WDR有効時、手動での明るさ調整は無効になります。



モニタ撮影時フリッカー低減

電子黒板や TV モニタなどを撮影時に発生する画面のゆらぎ(フリッカー)を低減します。
【注意】WDR 有効時、フリッカー低減機能は無効になります。





電源周波数

カメラの電源周波数を設定します。使用する場所の電源周波数に応じて適切な値を設定してください。



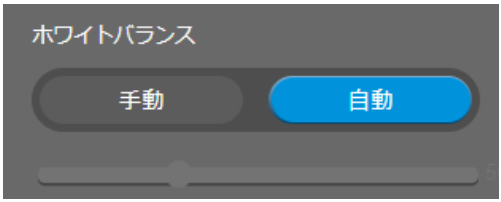
各レンズの画質設定

各レンズ(PTZ レンズ・2nd レンズ)の画質設定(ホワイトバランス、ノイズリダクション、明るさ、シャープネス、彩度)を選択できます。



ホワイトバランス

カメラ映像のホワイトバランス設定を行います。自動調整または手動調整の切り替えを行います。



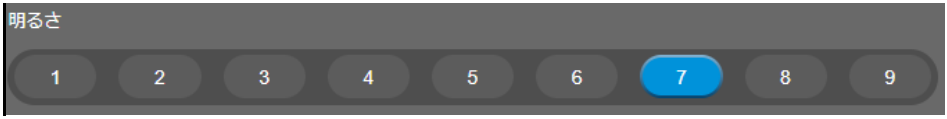
ノイズリダクション

ノイズリダクションの有効または無効、処理の強度を変更します。



明るさ

ビデオ映像の明るさを 9 段階で調整できます。



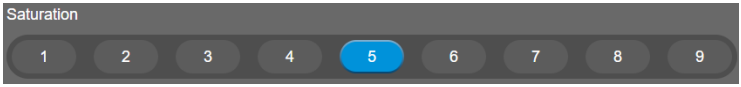
シャープネス

ビデオ映像のシャープネスを調整します。



彩度

ビデオ映像の彩度を 9 段階で調整できます。



低照度補正

暗い撮影環境でのビデオ映像を補正します。

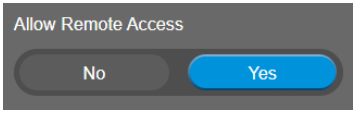
※本項目有効時、フレームレートは 10~15 fps 低下します。



リモートアクセスの許可

設定＞画像＞リモートアクセスを許可する＞オフまたはオンを選択します。

【注意】この設定項目は Room Management でのみ設定変更が可能です。



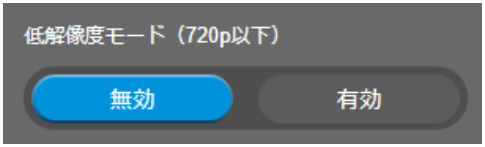
低解像度モード（720p 以下）

低解像度モードを無効/有効にすると、システムは自動的に再起動し、起動までに約 20～60 秒かかります。

Teams 等の一部のビデオ会議ソフトウェアでは、ビデオ通話中の帯域幅の負荷を下げるため低解像度（360p）のビデオストリーミングが行われる場合があります。

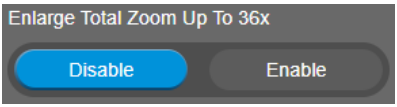
ビデオ通話中の画質を向上させたい場合は、低解像度モードを無効にしてください。

本モードの副作用として、ソフトウェアによりフレームレートが低下する場合があります。



最大 36 倍ズームの有効化

デジタルズームを含めた最大 36 倍ズーム機能の有効／無効を設定します。
デフォルトは 24 倍です。



ビデオ/フレームレート

出力ビデオのフレームレートを設定します。
【注意】
・30fps は 60fps より画質が向上します。**高速で動くものを撮影しない場合は 30fps を推奨します。**
・60fos を選択時、解像度に関係なく、PIP/オンスクリーンメニュー、イメージフリップ、イメージミラーの機能は無効になります。

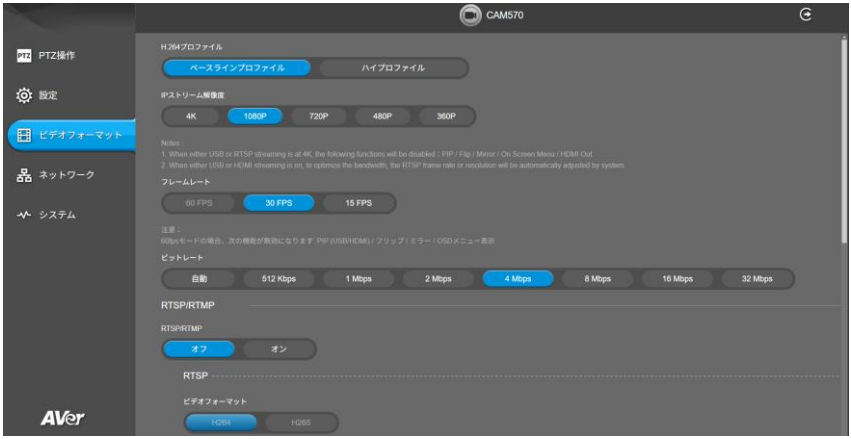


RS232 制御の設定

カメラ制御を行う RS232 の詳細設定を行います。



ビデオフォーマット設定



H.264 Profile

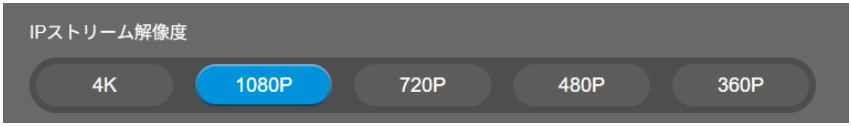
ライブ配信に使用する H.264 の形式を選択します。



IP ストリーム解像度

IP ストリーミング時のビデオ解像度を選択します。(USB ビデオの解像度とは関連しません。)

USB 映像が 1080p/30fps 出力されている場合に IP ストリーミングを実施した場合、IP ストリーミング解像度は最大 720p/30fps に制限されます。



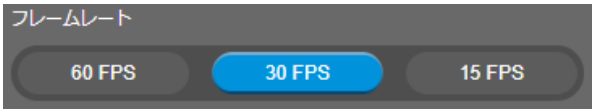
【注意】

・USB 出力または RTSP 出力で 4K 解像度が選択されている場合、HDMI 出力機能は無効になります。

・USB または HDMI 出力のいずれかが有効の場合、帯域幅最適化のため、RTSP フレームレートまたは解像度がシステムによって自動的に調整されます。

フレームレート

IP ストリーミング時の、ビデオフレームレートを選択します。



[注意]

60fps を選択時、解像度に関係なく、PIP/オンスクリーンメニュー、イメージフリップ、イメージミラーの機能は無効になります。

ビットレート

IP ストリーミング時の、ビデオビットレートを選択します。

Facebook live broadcasting を使用する場合、ビットレートは 4Mbps 以上への設定を推奨します。



RTSP

RTSP プレーヤーを使用するには、VLC、PotPlayer、QuickTime などのアプリケーションで Web 上に表示される RTSPURL を入力してください。また、RTSP 有効時にパスワード要求を有効/無効に設定できます。

・RTSP/RTMP 機能の有効/無効を切り替えるには、On/Off(デフォルト)を選択します。

・RTSP 使用時のパスワードを設定は、オン/オフ(デフォルト)を選択します。

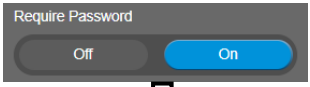


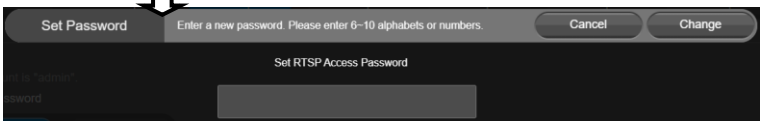
[注意]

- アカウント名は ”admin ”です。
- USB ストリーミングと RTSP ストリーミングを同時に有効にすると、映像の ON/OFF や解像度を切り替えながら映像を表示するのに 4～5 秒程度かかります。
- **USB ストリーミングまたは RTSP ストリーミングで 4K 解像度を選択した場合、HDMI 出力機能は無効となります。**
- USB または HDMI ストリーミングがオンになっている場合、帯域幅を最適化するために、RTSP フレームレートまたは解像度はシステムによって自動的に調整されます。

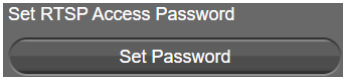
RTSP ストリーミング利用時のパスワードを設定する

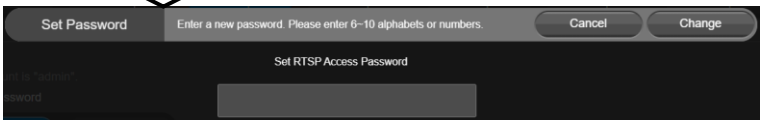
1. ビデオフォーマット」→「RTSP と RTMP」と進み、「RTSP と RTMP」欄で「オン」を選択します
2. オプションで RTSP ストリーミングのパスワードを設定します。[Require Password]のフィールドで[On]を選択後、パスワードを入力し[Change]をクリックしてパスワードを保存します。





3. パスワードを変更したい場合は、「Set RTSP Access Password」フィールドの「Set Password」ボタンをクリックします。新しいパスワードを入力し、[Change]をクリックするとパスワードが保存されます。

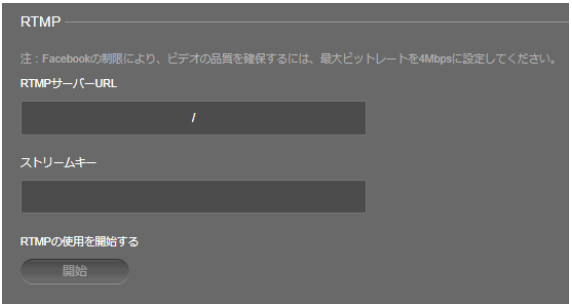




RTMP

YouTube Live など RTMP を使用する配信プラットフォームを使用する場合の設定を行います。
使用するサービスの RTMP サーバーURL とストリームキーを事前に取得してください。

1. 開始をクリックすると、RTMP 配信が開始されます。
2. 停止をクリックすると、RTMP 配信が終了します。

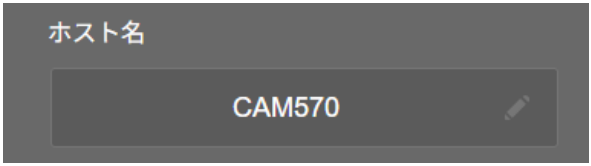


ネットワーク設定



ホスト名

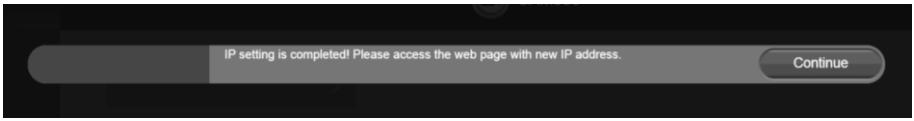
カメラの表示名を登録できます。英数字のみ入力・登録が可能です。



DHCP

DHCP の有効/無効を設定します。





固定 IP

カメラに固定 IP を設定する場合、一度 DHCP を無効にしてください。

1. **ネットワーク** > **DHCP** > **オフ** に設定します。
2. **IP アドレス**, **ゲートウェイ**, **サブネットマスク**, **DNS** を入力します。
3. **適用** をクリックすると、カメラに IP アドレスの設定が反映されます。

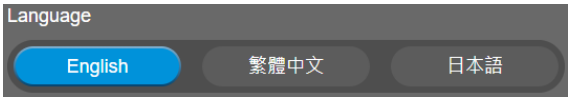


システム設定



言語

システムで使用する言語を選択します。英語・中国語・日本語の3つから選択できます。



ファームウェア更新

カメラのファームウェア更新を行う項目です。



■ 自動更新: インターネット接続時、最新のファームウェアを自動的にダウンロードし、更新を行います。
■ 手動更新: パソコン内のローカルファイルを選択し、オフラインでファームウェア更新を行います。

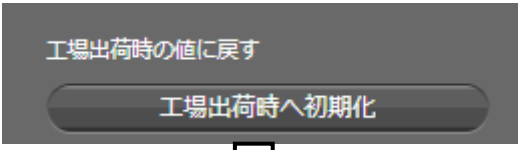
※ファームウェア更新が完了するとカメラは自動的に再起動します。
※ファームウェア更新中は USB ケーブル、LAN ケーブル、電源アダプタを抜かないでください。
更新中に接続が失われた場合、機器故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

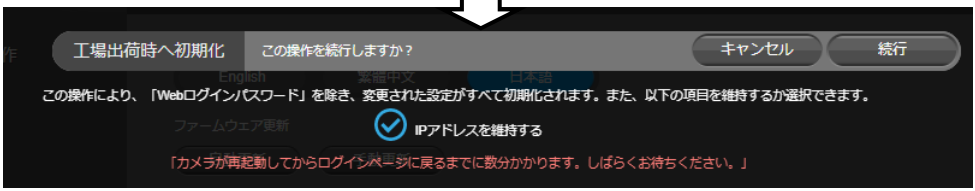
工場出荷時の値に戻す（初期化）

カメラを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

1. **「工場出荷時へ初期化」**をクリックします。
2. 初期化時に IP アドレスを維持するか、選択できます。
3. **「続行」**をクリックするとカメラの初期化が開始されます。

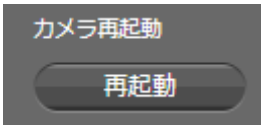
［注］工場出荷時を Web 管理画面から実施した場合、**Web 管理画面ログインのパスワードはデフォルトに戻りません。Web 管理画面ログインのパスワードをリセットするには、ソフトウェア Room Management を使用してください。**

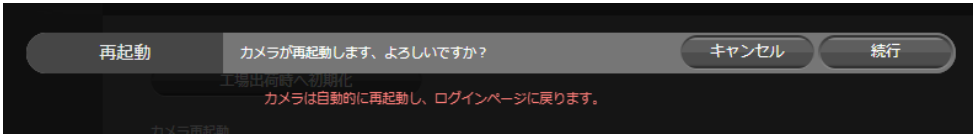




カメラ再起動

カメラを再起動します。

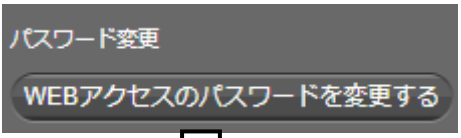


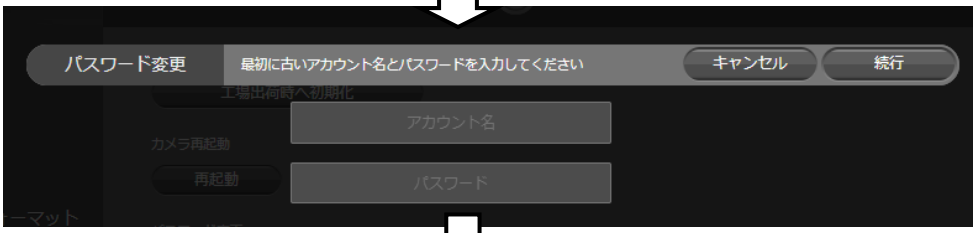


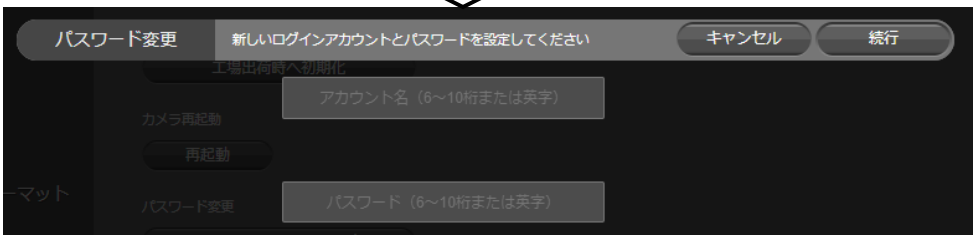
パスワード変更

Web 管理画面にログインする際のパスワードを変更します。

変更後は、初回ログインパスワード aver4321 を入力後、改めて使用するアカウント名/パスワードを設定してください。



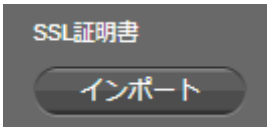




SSL 証明書

SSL 証明書のインポートを行います。

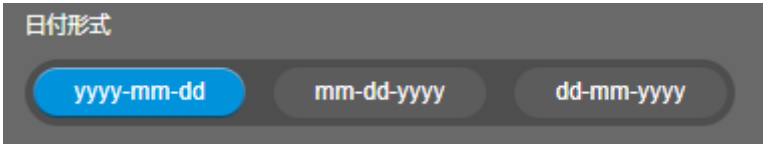
[注] SSL 機能はソフトウェア Room Management から無効にできます。





日付形式

システムが表示する年月日の形式を選択できます。



時刻形式

システムが表示する時刻形式を選択できます。



NTP を有効にする

時刻を手動で設定、または NTP サーバーからの自動取得を設定できます。

- **自動:** 指定した NTP サーバーから現在時刻を取得します。使用する NTP サーバーの URL、タイムゾーンを入力・選択してください。
  [注] デフォルトの NTP サーバーは米国に設定されています。正常に時刻を取得できない場合は使用する NTP サーバーの URL を入力してください。

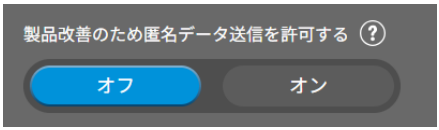


- **手動:** 時刻を手動で入力します。年月日・時分を入力し「適用」をクリックしてください。



匿名データの送信を許可

本項目が有効時、匿名の使用データが AVer に送信されます。データは品質向上のために使用されます。
弊社プライバシーポリシーについては下記 URL をご参照ください。
https://www.aver.com/privacy



情報

カメラの各情報が表示されます。(型番・製品シリアル・ファームウェアバージョン・IP アドレス・MAC アドレス)



Room Management のインストール

本製品はカメラ映像を使用するのみの場合、本ソフトウェアのインストールは不要ですが、
USB ケーブルで接続したパソコンからカメラの設定変更を行う場合、ソフトウェア Room Management を使用します。

弊社 HP より、**“ソフトウェア Room Management”** をダウンロードします。
ダウンロード後、インストールの指示に従い、インストールを完了してください。
インストール完了後、デスクトップに表示されたアイコンをクリックし、ソフトウェアを起動します。
Web 管理画面と同様の設定項目が表示され、各設定の変更を行うことができます。

ソフトウェア Room Management を使用する

1. カメラを使用する Web 会議ソフトウェアを起動します。
2. Web 会議中、Room Management を使用しカメラのパン・チルト・ズーム、ビデオの詳細設定を行うことができます。(注:Web 会議でカメラ映像出力時は Room Management のプレビュー映像は表示されません)

3. Room Management ( ) を起動すると、Web ブラウザが自動的に起動し、メニュー画面が表示されます。



4. ソフトウェアがカメラを認識すると、カード形式で接続中のカメラが表示されます。



5. IP アドレス横の鉛筆アイコンをクリックするとカメラの IP アドレスを変更できます。

［注］デフォルト IP アドレスは:192.168.1.168 に設定されています。

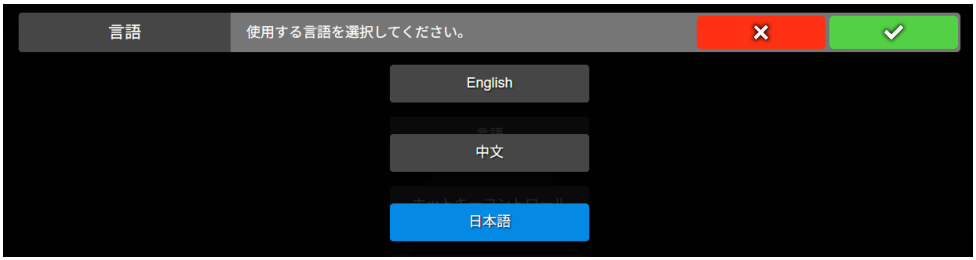


6. メニュー右端の歯車アイコンをクリックすると、カ使用言語、ホットキーの確認、ソフトウェアの更新メニューが表示されます。





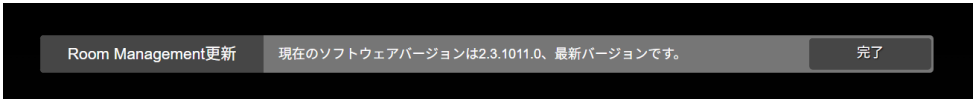
- **言語:** Room Management の表示言語を選択します。



- **ホットキーコントロール:** パソコンのキーボード操作により、カメラの操作や設定変更を行うホットキーコントロールを有効または無効にします。



- **Room Management 更新:** ソフトウェアのバージョン/更新を確認できます。
  新しいソフトウェアバージョン公開時、この項目からソフトウェアの更新を行うことができます。



7. **Information:** 表示されたカードの上にある▼マークをクリックするとカメラの詳細情報が表示されます。





8. **カメラ:** カメラのアイコンをクリックすると、カメラのライブビューと IP アドレスが表示されます。カメラのライブビューを閉じるには、X アイコンをクリックします。

   このライブビューの解像度は、640x480 固定です。

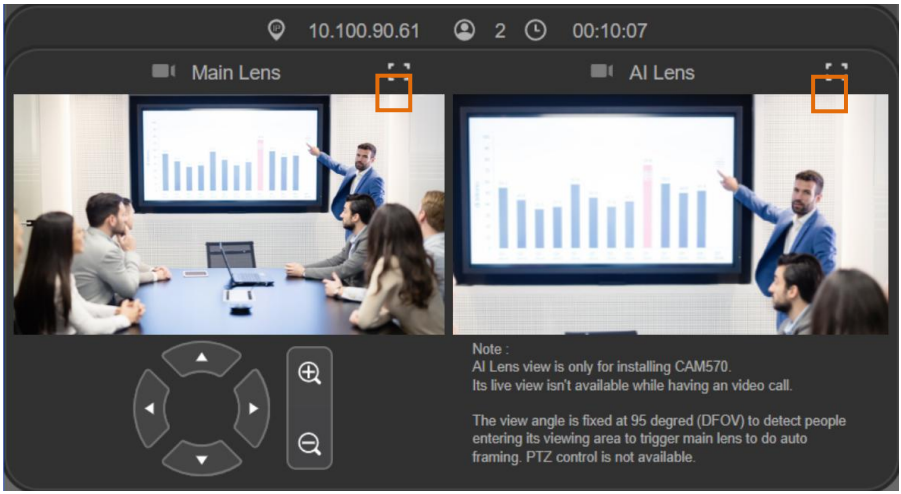




フルスクリーン表示: “ ” アイコンをクリックすると、カメラ映像の全画面表示を行います。

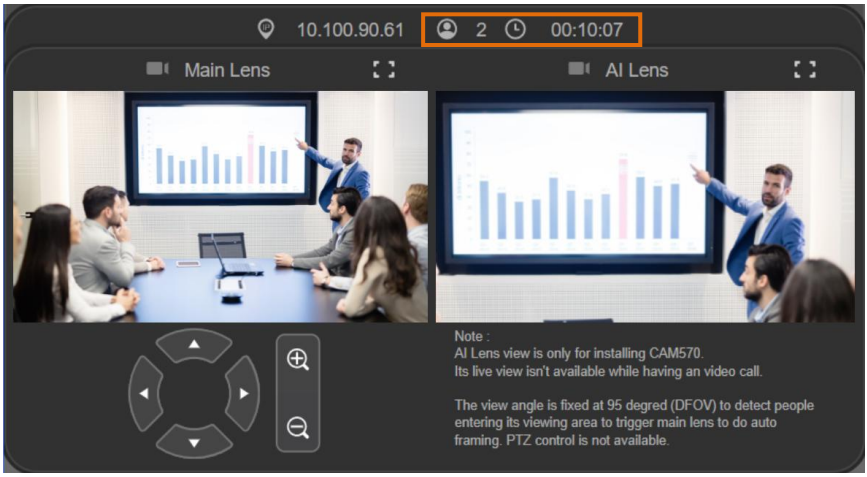
全画面表示の状態で再度 “ ” アイコンをクリックすると元の画面に戻ります。

※ プレビュー映像のビデオ解像度は 1080p/ 30fps 固定です。

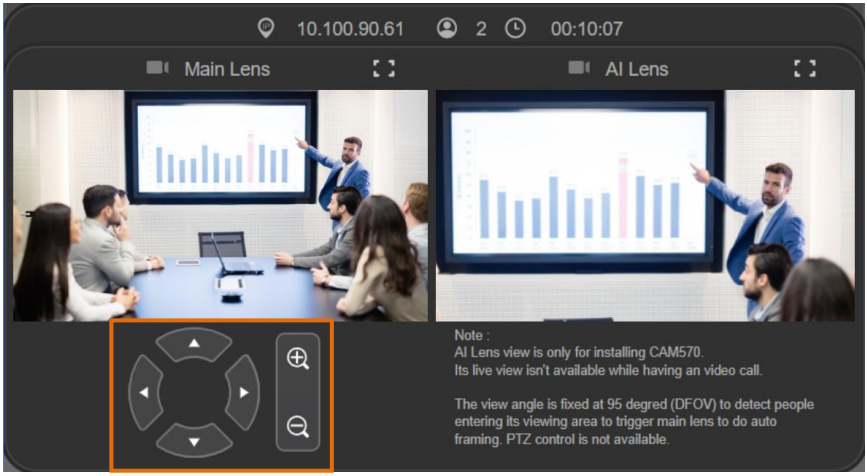




- **人数カウント・カメラ起動時間:** アイコンをクリックすると人数カウント・カメラ起動時間が表示されます

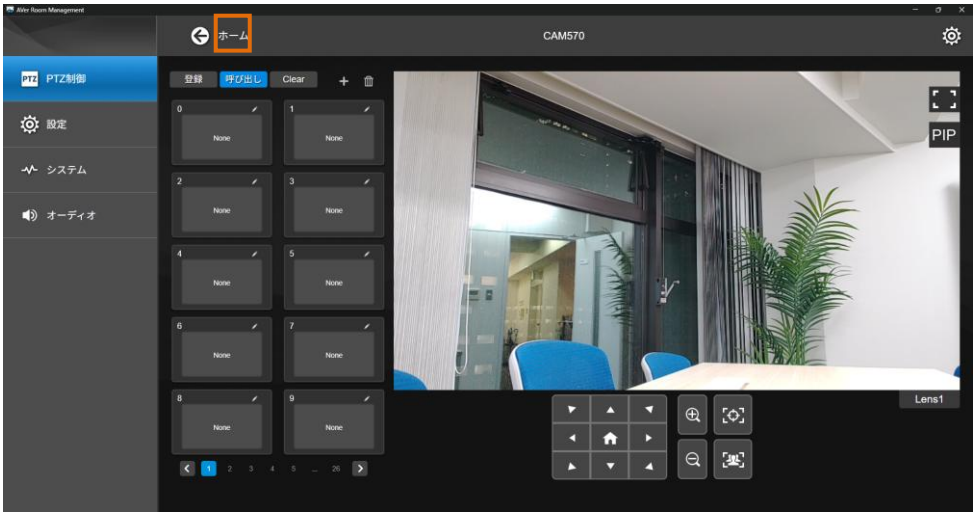


- **カメラ操作ボタン:** カメラのパン・チルト操作・ズームイン・アウト操作を行うことができます。



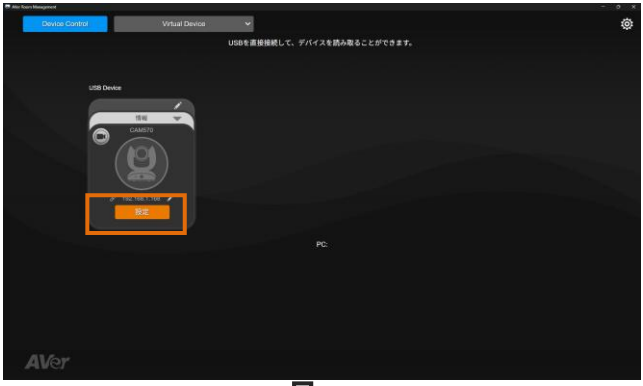
9. **設定:** オレンジ色の“**設定**”をクリックすると、
Web 管理画面と同様の設定画面が表示され、カメラの詳細設定を行うことができます。

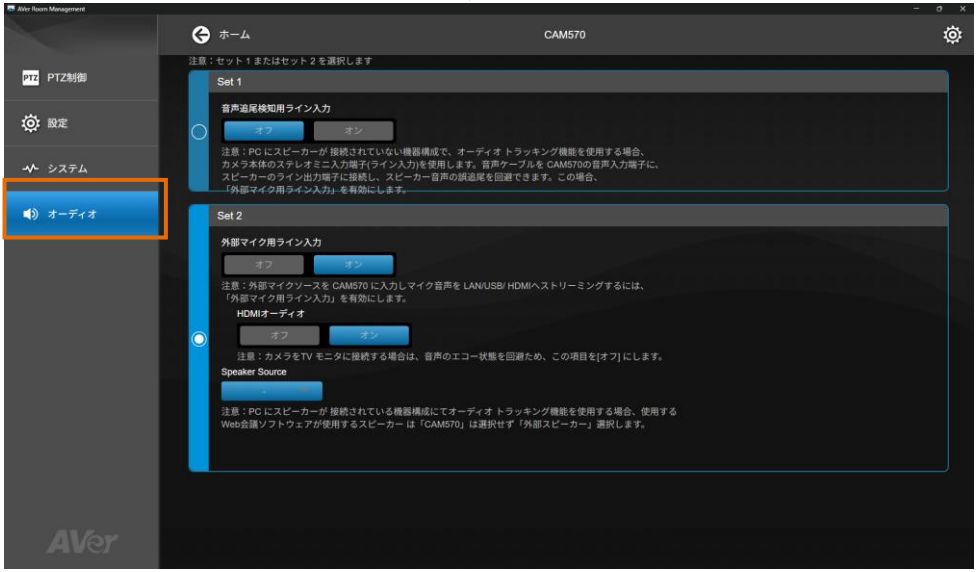




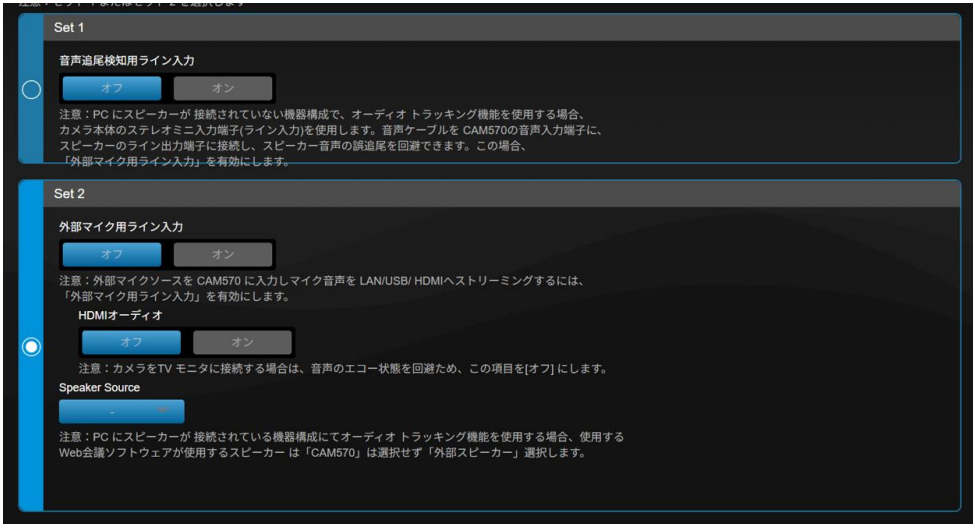
オーディオ設定(音声追尾からの除外設定、音声入力時の設定)

この設定項目では、オーディオトラッキング/プレゼンテーションモードを使用時、
外部スピーカーやディスプレイ内蔵ディスプレイからの出力音声を指定し、音声追尾から除外する設定を行います。
(注意)この設定項目は RoomManagement からのみ設定が可能です。※Web 管理画面からは変更できませんのでご注意ください。





Web 会議で使用するオーディオ機器の配線や出力状況に応じて、
オーディオ設定の Set1または Set2 を選択し、除外するスピーカー音声の設定を行います。



ケース1： 外部スピーカーが設置されている場合

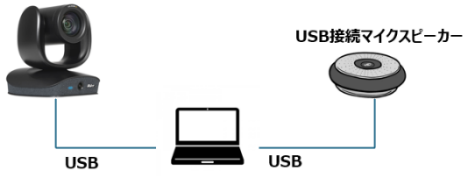
・Set1 を選択し、音声追尾検知用ライン入力をオンに設定します。



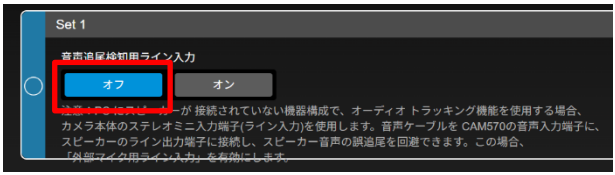
・外部スピーカーの LINE OUT 端子とカメラ背面の AUDIO-IN 端子を
ステレオミニケーブル（3.5mm）で接続します。



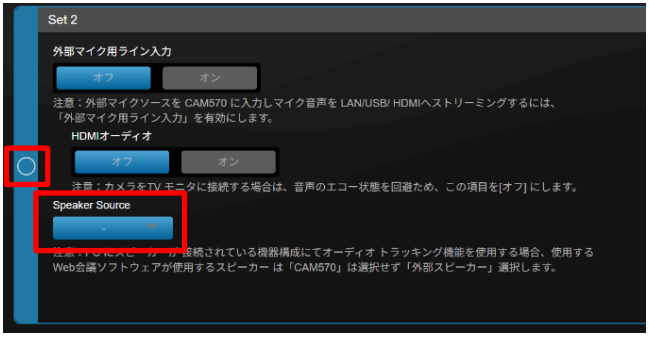
ケース2:CAM570 を使用する PC に外部スピーカーが接続されている場合



・Set1 にて、音声追尾検知用ライン入力をオフに設定します。



・Set2 を選択、「Speaker Source」の項目から除外するスピーカーを選択し右上の Confirm をクリックします。



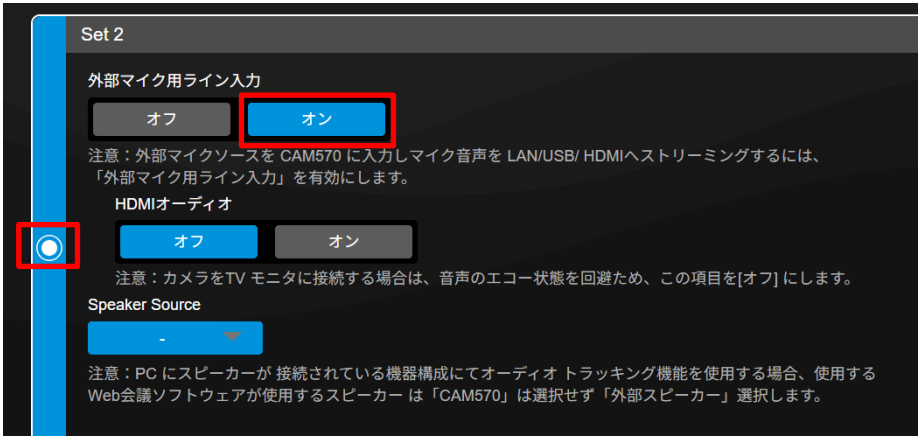


・Confirm を選択後、カメラが再起動するメッセージが表示され、再起動後に設定が適用されます。
(注)カメラが再起動し、起動するまで 20～60 秒程度、時間がかかります。

■AUDIOIN 端子　音声入力･出力の設定

･外部マイクの音声をカメラに入力する

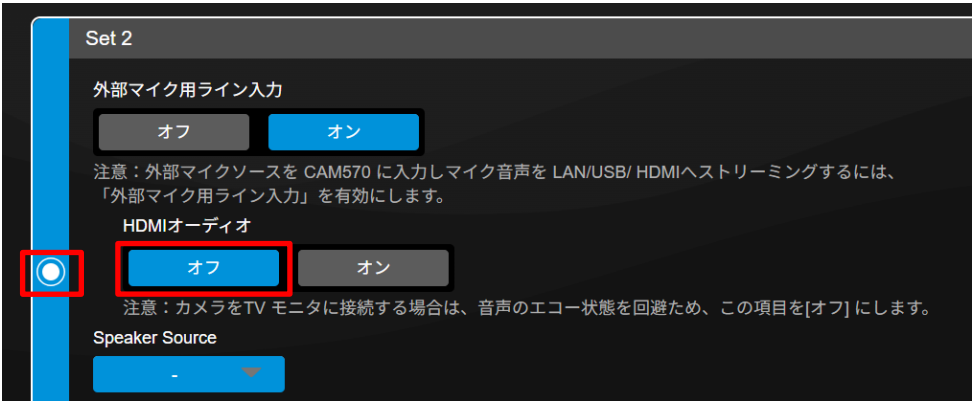
Set2 を選択し、「外部マイク用ライン入力」を「オン」に設定します。



･カメラの HDMI 出力音声（マイク音声）を無効にする



･上記配線の場合、ハウリングが発生しないよう HDMI オーディオを「オフ」に設定します。



・カメラの HDMI 出力音声（マイク音声）を有効にする



上記配線の場合、録画レコーダーへ HDMI 音声を送信するため、HDMI オーディオを「オン」に設定します。

